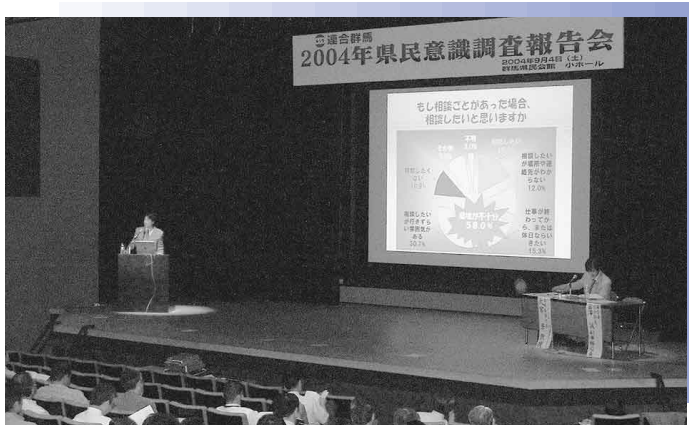


県民意識調査報告会開催!!

去る9月4日(土)群馬県民会館小ホールにおいて、一般参加を含め180名の参加者を集める中で「2004年県民意識調査報告会」を開催しました。

今年度の報告会は、一般県民を含めた調査規模を拡大したことから、調査に協力いただいた多くの皆さんに集計結果の報告をするとともに、調査結果から浮き彫りになった県民ニーズを共有化するために行いました。

今年度の報告会は、富澤副事務局長の調査報告をはじめ、調査の企画段階から参画してきた高経大・大宮登教授がコーディネートする中で進められました。



調査報告では、前号で報告したように「心配事・困り事・関心事」に対する集約結果の他、子育て・高齢者福祉・年金制度に関わる問題をはじめ、特にニーズの高かった「いじめ、不登校児童・生徒の問題」や「治安の問題」の結果についてふれ、全国・県内の状況を踏まえ説明を行いました。

その後、大宮教授から「外部から見た連合群馬の意識調査と政策提言について」と題し、調査結果から読み取れる意識傾向や、今後の連合群馬の活動に対する課題提起も行われ、参加者との意見交換を行い終了しました。



中国・沿海地方の発展振りを再確認!

連合群馬 第16次訪中団



連合群馬・第16次訪中団は、大川団長以下3役で構成する役員交流団であり、10月7日から5日間の日程で中国無錫市などを訪問しました。

7日午後、到着した上海・浦東空港では、総工会・朱国際部長の出迎えを受け、そして、上海市内から昆山～蘇州を通り、江蘇省無錫市に向かいました。

上海や周辺地区の開発はもの凄いものがありました。特に蘇州新区の開発では、見渡す限り何もない開発区(元は田畑?)の中で、忽然と現れる真新しいビルやマンション群、あちこちで行われているビル建設などの様子は、正に聞きしに勝るものがありました。



無錫市に到着後には、総工会から柴副主席および張副主席が出席する中で非公式の夕食会が行われ、本年11月に訪日を予定している柴副主席からは、群馬訪問の際はよろしくとの挨拶がありました。

翌日は、先ず無錫オイル・ポンプ工場(最近になって株を上場したと説明があった…)の視察を行いました。

工場では、平均年齢28.6歳の若い人たちが働く組み立てラインを見学しましたが、ドイツ・ボッシュ社の技術指導を受けた現場にはゴミ一つ落ちておらず、10年程前の中国の工場とは全く印象の違ったものでありました。

立ち会った陳副主席(女性)との意見交換では、年間売り上げ34億元のオイル・ポンプ工場であり、2008年のオリンピックなどの建設需要を受けて、昼夜2交代の勤務を行っている。また、20倍の難関を乗り越え入社した人が、優秀な人たちから先に、待遇の良い企業に転職してしまい困っているとの説明もありました。

余主席をはじめ総工会の主要メンバーが参加した意見交換では、余主席の歓迎挨拶に続き大川会長から「連合群馬を代表し、3役全員が参加した訪中団の重みを受け止めて欲しい。今後も無錫市総工会との友好・交流関係を深めて行きたい。」など挨拶を行いました。

その後の歓迎昼食会では、今後の相互訪問などを通じ再会を誓い合うなど、表敬訪問の日程を終了し上海へ向かいました。そして、中国各地を訪問する中でその著しい発展振りを改めて確認する旅となりました。

